



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 25 年 7 月 25 日(木)
まち灯り・夏準備～ろうそくづくり～ 編

7 月 25 日、子ども館で廃食用油を利用したろうそく作りを行いました。子ども達がスギ灯りに入れるろうそくを作り、8 月 6 日に開催される「のしろまち灯り・夏」で環境にやさしい灯りをとめます。今回は、能代市の環境学習講座「能代こども環境探偵団」との共催で、下は 1 歳から上は小学 6 年生までたくさんの子ども達に参加していただきました。

当日は午前と午後の部の 2 回に分けて開催しました。はじめに子ども館の寺内先生、浅野先生のお話を聞いた後、能登さん、平山さんのご指導の下、ろうそく作りが始まりました。市の給食センターから頂いた廃食用油を鍋に入れ、80℃まで熱します。それに凝固剤を加えカップに注ぎ、芯を入れて固まったら完成です。子ども達は真剣な目で温度計を確認して、おたまで慎重にカップに注いでいました。

芯を入れ固まるのを待つ間、廃食用油から BDF(バイオディーゼルフェューエル)を作る実験も行いました。実験好きの子ども達は我先にとゴーグルをかけてゴム手袋をはめ、実験に参加。先生に教わりながらピペットなどを上手に使っていました。

BDF の実験が終わるころ、ろうそくが固まり、完成しました。子ども達の頑張りで、約 200 個のろうそくが出来上がりました。カーテンを閉め、スギ灯りに入れて火を灯すと歓声が上がリ、みんなの笑顔が見えました。子ども達からは「楽しかった！」、「また作ってみたい！」等の声がありました。

最後に、使用済みのろうそくを融かして、きれいに色づけしたろうそくをお土産にもらい、喜んで帰りました。自分達が作ったろうそくが灯される「のしろまち灯り」にきっと足を運んでくれると思います。参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

文：塚本 竜哉



いつものように子ども館の先生の楽しい説明からスタート(上)。毎回参加してくれて上手にお玉から注ぐ子も増えてきました(下)。



木高研の齊藤先生による BDF 製作実験。本格的な格好と器具で楽しそうですね。



室内を暗くして、作ったろうそくをともしてみます。思いのほかの明るさに、みな感動。まち灯り当日も灯りを見に来て下さいね。